



「修練」と「100%」

校長 佐々木 秀之

暦の上ではもうすぐ啓蟄を迎えようとしています。1月以降、現在まで新型コロナウイルス感染症・インフルエンザによる学級閉鎖はありませんでした。ご家庭での健康管理に感謝申し上げます。

*

3月8日からワールド・ベースボール・クラシック（略称 WBC）が開催されます。2006年の第1回大会、2009年の第2回大会は日本が優勝しています。

「練習を怠る人がうまくなることはないですよ。修練した人がうまくなるんです。」

第1回大会の監督、王貞治さんの言葉です。「修練」という言葉が使われていますが、いうまでもなく「修練」とは、人格・学問・技芸などが向上するように、心身を厳しく鍛えることです。

スポーツでも何でも、迷ったとき、困ったときは基本に戻ることが大切だと言われます。スランプに陥ったときは基本に立ち返るのが一番です。問題なのは、戻るべき基本を持たないことです。基本を持たず、行き当たりばったりでいろいろなことをやっていると、自分の得意だったフォームさえ崩してしまいます。

今までは何でもなかったことができなくなり、新しく手を付けてみたところで身に付かない。すると、以前のパフォーマンスよりずっと低いところまで落ちてしまい、精神的にも活力を失って進退窮まってしまうこともあります。

第1回、第2回大会に参加したイチロー選手は、「練習で100%自分を作らないと、打席に立つことはできません。自分の形を見付けておかないと、どん底まで突き落とされます。」と述べています。王貞治は「修練」、イチロー選手は「100%」という言葉で打ち込むことの大切さを表現しています。

*

今回の日本代表の栗山英樹監督の座右の銘は「夢は正夢」。夢は叶えるために見るものという信念からだそうです。夢を叶えるために、子供たちには努力を怠らない人になってほしいと思います。

今年度最後の学校だよりとなりました。一年間本当にありがとうございました。本校の教育活動に深いご理解をいただき、惜しみないご支援・ご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。